

厚生労働省認可
通信教育
参考資料

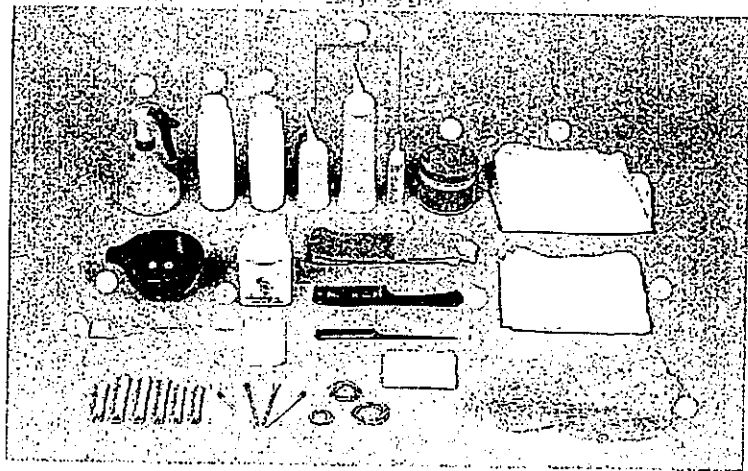
美容技術理論

1



パーマメントウェーブ技術

現在、一般に普及しているコールドウェーブ用剤の基本的な技術プロセスを説明する。



- | | |
|------------------|---------------|
| ① ウォータースプレー | ⑩ ジャンボコム (粗齒) |
| ② パーマメントウェーブ1剤 | ⑪ ラットテールコム |
| ③ パーマメントウェーブ2剤 | ⑫ タオル |
| ④ アプリケーター類 | ⑬ ビニールキャップ |
| ⑤ 保護用クリーム | ⑭ ブラシ |
| ⑥ クロス | ⑮ ロッド |
| ⑦ カップ | ⑯ スティックピン |
| ⑧ ペーパー (エンドペーパー) | ⑰ 輪ゴム |
| ⑨ ターバン | ⑱ コットン |

コールドウェーブ用剤の技術プロセスの一覧

- | | |
|--------------|-------------|
| 1 毛髪診断 | 9 放置タイム |
| 2 シャンプー | 10 テストカール |
| 3 ヘアカットイング | 11 中間リンス |
| 4 ロッドの選定 | 12 2剤塗布 |
| 5 ブロッキング | 13 ロッドアウト |
| 6 プレ処理 (前処理) | 14 リンス |
| 7 ワインディング | 15 ウェーブチェック |
| 8 1剤塗布 | 16 スタイリング |

5 パーマメントウェーブ技術
パーマメントウェーブ技術



毛髪診断

パーマネントウェーブの技術を進めるにあたって、その素材である毛髪について正しい診断をすることは、きれいなウェーブをつくり出す出発点となる。

施術の前には毛質及び毛髪の状態を観察し、使用する薬剤や技術の選定基準にする。毛髪診断はシャンプーの前後（ドライヘアとウェットヘア）で判断する。

また、お客さまから過去の施術（パーマネントウェーブやヘアカラーリングなど）や体質、現在の体調を聞くことは、技術を決めたり事故を未然に防ぐためにも重要である。

㊸ドライヘア

シャンプー前の毛髪が乾いた状態で、髪質や健康状態をチェックする。日本人の髪質は、硬毛（パーマがかかりにくい）、普通毛、軟毛（パーマがかかりやすい）に分けられる。

また、つやのある健康毛か、パーマネントウェーブやヘアカラー施術などによる損傷があるダメージヘアかを知ることも大切である。ダメージヘアの場合は、ダメージの程度と部分を確認する。

㊹ウェットヘア

シャンプー後の毛髪がぬれている状態では、前にかけたパーマネントウェーブの残存状態がよく分かる。

パーマネントウェーブの残存部分がある場合は、そのままの状態ではパーマネントウェーブをかけると、残存部分は薬剤が強く作用するおそれがある。そのため、トリートメントなどで薬剤の進行を抑えることも必要になってくる。

シャンプー時には毛髪の水分の吸収度合いをチェックし、はっ水性毛か吸水性毛かによって、薬剤選定の目安とする。

はっ水性毛（水分の吸収が特に悪い）⇒ 薬剤をはじき、パーマがかかりにくい
吸水性毛（水分の吸収が特によい）⇒ 薬剤を吸収し、パーマがかかりやすい

⑤ シャンプー

シャンプーによって毛髪の汚れを取り除き、薬剤の作用が正確に発揮できるようにする。

基本的には刺激の少ない、適度に洗浄力のあるシャンプーが適している。毛髪の汚れを落とすことが目的であり、頭皮に対してのマッサージを目的としない。

① 酸性やアルカリ性の非中性タイプ

② 頭皮刺激剤を配合したトニックシャンプー剤

③ 殺菌剤入りのふけ取りシャンプー剤

④ オイル分の強いシャンプー剤

⑥ ヘアカットイング

ヘアスタイルによっては、パーマネントウエーブ施術後にヘアカットイングを行う場合もある。

パーマネントウエーブ施術前に、テーバリングやセニングによって毛量調節する場合は、ワインディングの妨げにならない程度にしておく。レーザーでテーバーすると損傷を受けやすくなり、また毛量が少なくなることにより薬液が毛先に多く作用し、むらがかりの原因になる。



5 パーマネントウエーブ技術
の
ハ
イ
ス
ト
リ
ー

⑦ ロッドの選定

パーマネントウエーブの技術では、ロッド、ペーパー、輪ゴム、コームなどいろいろな道具が使われるが、中でもロッドの選定は、最も基本的かつ重要な仕事である。

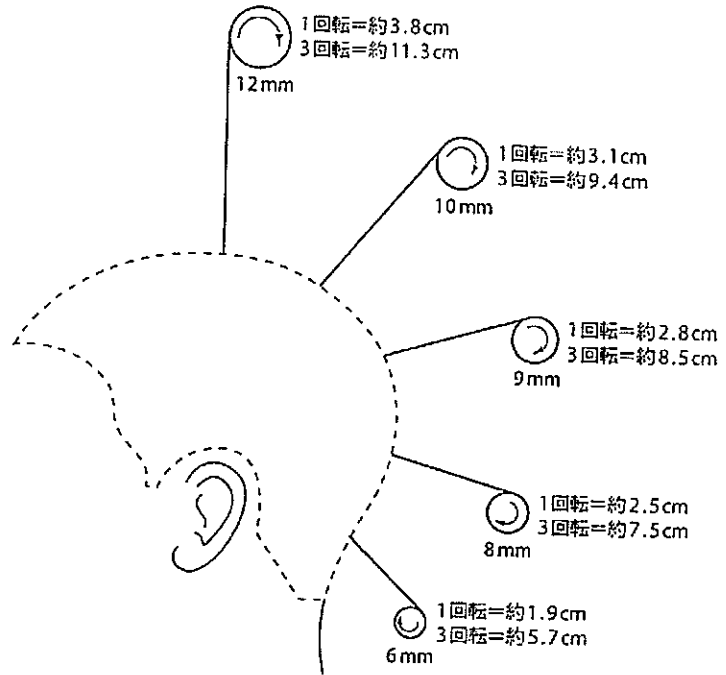
ウエーブの大小は、ロッドの太さによって決定され、求めるスタイルによってロッドを選ぶ。

通常、パーマ剤で形成されるフルウエーブは、使用するロッドの3回転分の毛髪の長さが必要である。



◎ロッドの直径と回転数

ロッドの大きさによって色が異なるので、目安にするとよい。



⑧ ブロッキング

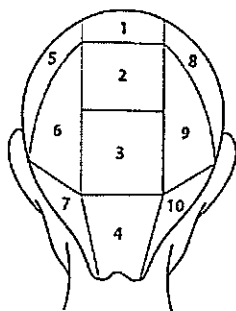
ブロッキングは、次のワインディングの下準備である。どんなスタイルを作るのかを基準にロッドの配列を考えてブロッキングする。

建物でいえば設計図、洋服でいえば型紙をおこすのと同じである。

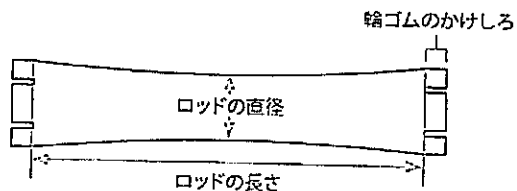
- ・正確なロッドの配列を行う
- ・正確な薬剤操作を行う
- ・ワインディングをスムーズにする

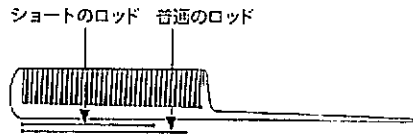
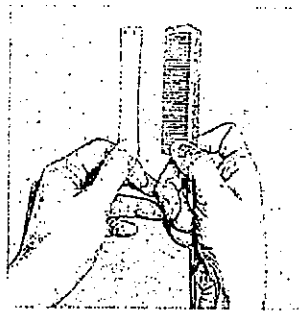
⑨ 正しくブロッキングするための注意

各ブロックを正しくとるためには、ロッドの長さを把握する必要がある。ブロックの幅はロッドの長さ（輪ゴムのかけしろを除いた長さ）と同じか、やや狭くし、ロッドの中心を頭の正中線に合わせて決める。



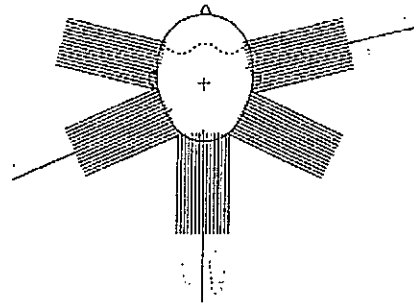
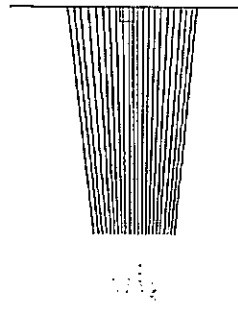
ブロッキングの順序の一例





ブロッキングの際、コムをものさし代わりにしてロッドの長さを覚えておくと、作業がスムーズに進む。

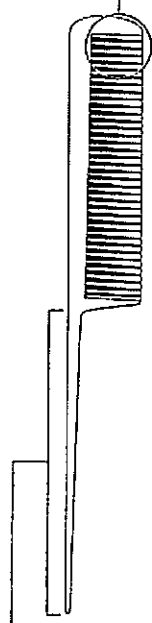
◎お客さまの頭部と技術者の体の位置関係



毛束は頭皮に対して直角に引く。正しくシェーブするためには、毛髪全体を均一にぬらしておくことが大切である。

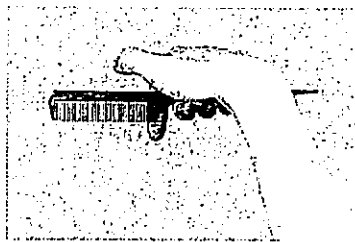
5 パーマメントウェーブ技術
パーマメントウェーブのやり方

ブロッキングするとき、線の線をとるには出先の部分を使う

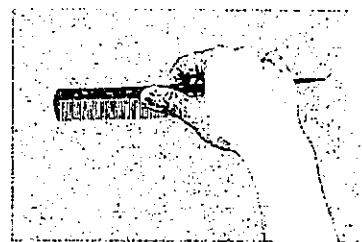


線の線をとるにはテール部を使う

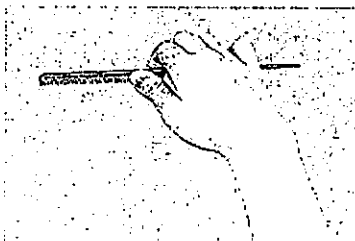
⑥ コームの扱い方の一例



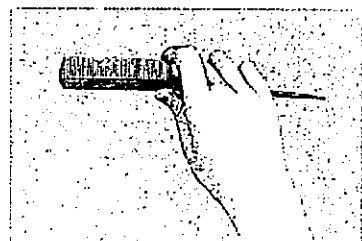
①— 母指と示指を除いた3本の指で支える。



②— 母指と示指を軽く添えて、コームを固定する。



③— コームを90度回転させたところ。



④— 同じく180度回転させたところ。このとき母指と示指でコームを回すようにしてシェーブする。

◎ブロッキングの一例

ブロッキングをする際には、各ブロックが曲がったり、正中線からずれたりしないように気を付ける。

各ラインは直線で分けとり、交差する場合は十字形またはT字形にはっきりと線が見えるようにする。



①—ロッドをあてて、ブロック幅の目安にする。



②—コームの歯先を使い、手前に引く。左手も使って毛髪を分ける。



③—ブロックの反対側も同じように分けとる。



④—コームのテールを使って毛先をすくい上げ、輪ゴムでまとめる。

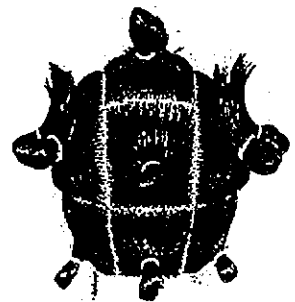
◎ブロッキングが終了したところ



フロント



サイド



バック

⑤ プレ処理 (前処理)

正しい毛髪診断のもとに、薬剤を毛髪に塗布していく。

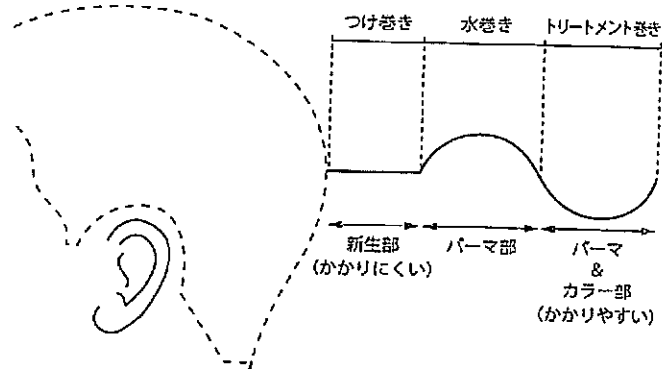
一般的に根元は毛先に比べ、パーマがかかりにくい状態になっている。また毛先は、自然の日光やその他の条件 (パーマネントウェーブ、カラーリング、ブラッシング、シャンプー) によってかかりやすくなっている。

あらかじめ下記の水巻き、つけ巻き、トリートメント巻きの方法で毛髪の状態をコンディショニングしておく必要がある。

水巻き	毛髪をウェットヘアの状態で行なう。1剤を塗布する方法
つけ巻き	あらかじめ毛髪に1剤を塗布し、ワインディング後に再び1剤を塗布する方法
トリートメント巻き	かかりすぎるおそれのある毛髪に行う。一般的にカラーリングや残存ウェーブがあるところに、状況に応じてトリートメントを塗布し薬液の作用をセーブする

⑥ 毛髪の状態によるプレ処理の一例

※ 1剤を根元に塗布する場合は、頭皮に流れ落ちないように注意する。カップにコットンを敷き少量の1剤を染み込ませ、そこからブラシなどで根元に塗布すると薬剤が流れない。



⑦ ワインディング

ワインディングとは、各ブロックの毛髪をスライスし、ロッドに巻き付ける技法のことである。ワインディング時は、作業するブロックにまっすぐ向いて立つ。

⑧ スライスとベース

使用するロッドの直径を目安にスライス幅を決め、コームのテールで毛束をすくう。

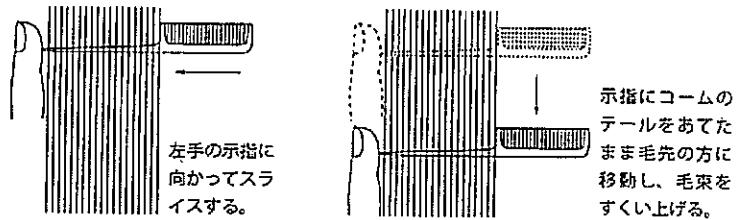
なお、頭部の位置 (トップ、サイド、ネーブ) や毛髪の長さ、毛量、毛質に合わせてスライス幅を調整することもある。

◎スライス時の目の位置

スライスは、作業する位置に目の高さを合わせる。ネープの部分
は特に、上から見下ろすとスライス幅が広くなりがちなので、注意
が必要である。

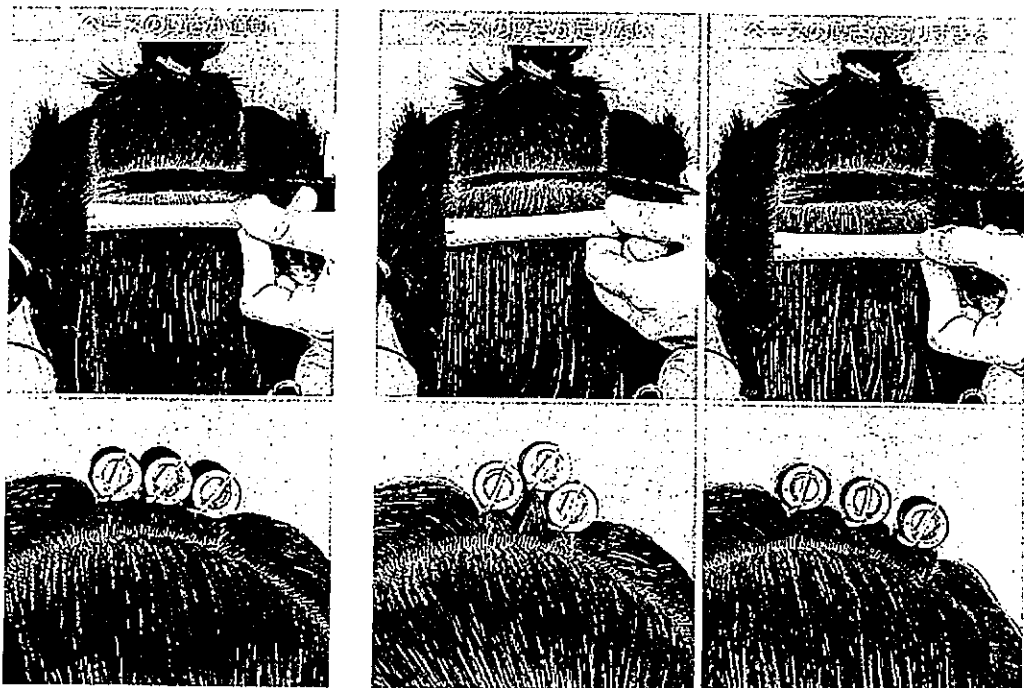


◎スライスの仕方



◎ベースの厚さ

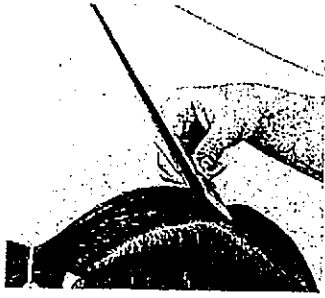
ベースの厚さ（スライス幅）を適切にとらないと、ロッドとロッ
ドの間が開きすぎたり、ロッドが浮き上がってしまったりして、き
れいなウェーブにならないので注意する。



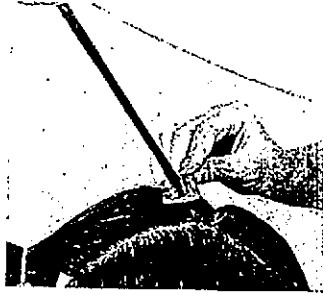
ロッドがおさまらずに浮いてしまう ロッドとロッドの間が開いてしまう

⑥ シェーピング

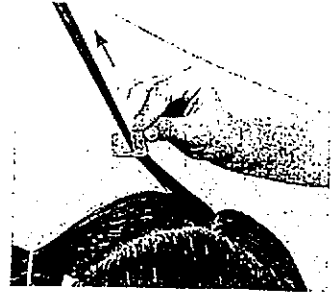
コームの歯先を毛束の根元にえぐるように入れ、毛先までテンションをかけながら均一にシェーブする。



①—毛髪をスライスして取り出したら、コームの歯先が手前にくるように、スライス線にあてる。



②—コームを母指で押すように回転させ、根元に歯先を入れ、えぐるようにとかしはじめる。

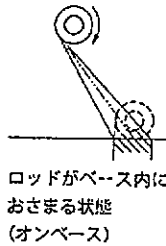
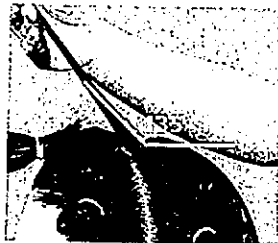


③—コームの歯元でテンションを加えながら、毛先までとかす。

⑦ ステムの角度とボリュームの関係

◎135度の場合

STEMが頭皮に対して135度とき、最もボリュームが出る。



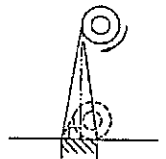
ロッドがベース内におさまる状態 (オンベース)



できあがりのカール。カールが根元からしっかり立ち上がっている。

◎90度の場合

STEMが長くなり、ロッドがスライス線より出る。



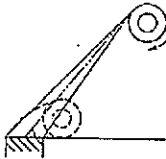
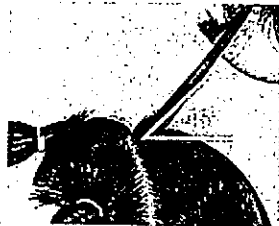
ロッドがベースから半分ほど外に出る状態 (1/2オフベース)



できあがりのカールは多少立ち上がりが得られるが、根元のボリューム感が無い。

◎45度の場合

STEMが最も長く、カールのボリュームは小さくなる。



ロッドがベースの外に出ている状態 (オフベース)



できあがりのカールは根元の立ち上がりがなく、ボリューム感がない。

④ ロッドとペーパーの扱い方

ステムを毛先から均一の力でロッドに巻き付けるときに必要なのがペーパーである。折らずに1枚で使う場合もあるが、2つ折りまたは3つ折りにして使うこともある。

● アップシェーブ



①—ペーパーが毛先から少し出るようにする。



②—毛先をペーパーごと、ロッドに巻きこむ。



③—強からず弱からず、一定のテンションを保ちながらワインディングする。

● ダウンシェーブ



①—ペーパーが毛先よりも出るようにあてる。



②—ペーパーとステムの下にロッドをあて、左手の母指と薬指、小指でロッドを挟む。

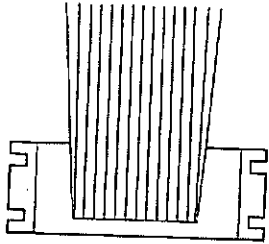


③—右手の示指を使い、毛先をペーパーといっしょにロッドに巻きこむ。

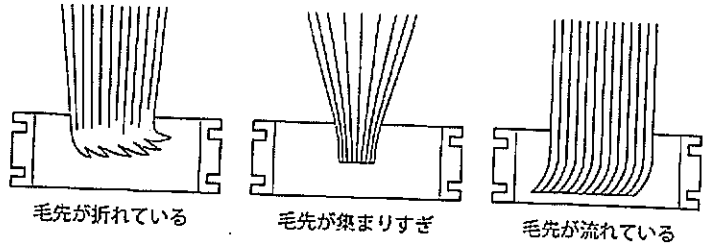
◎毛先の処理と巻き方

毛先が乱れたままロッドを巻いてしまうと、美しいウエーブを得ることはできない。毛先の処理は「折らず、集めず、流さない」が基本である。

◎適切な毛先の状態



◎悪い例

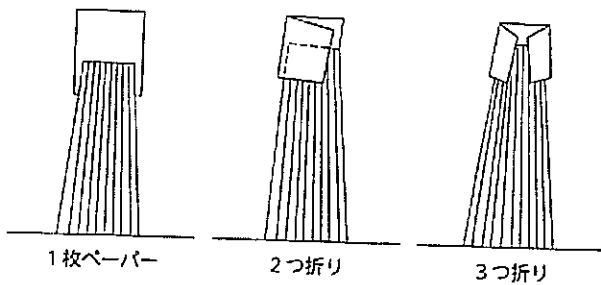


ペーパーを使うことで、多少不ぞろいな長さの毛先でも、ロッドに均一に巻きこむことができる。

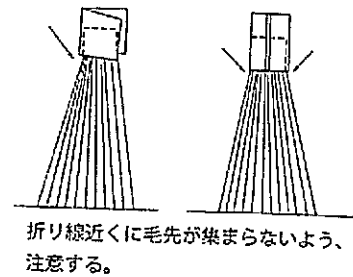
ただし、例えば1枚ペーパーは、毛束の裏面や毛先がそろいにくいことがある。2つ折りペーパーは、テーパの強いカットがされている場合は毛髪が落ちやすい。3つ折りペーパーは毛先が集まりやすいなど、折り方によって気を付けなければならない点がある。

5 パーマメントウエーブは捲符

◎正しいペーパーの使い方

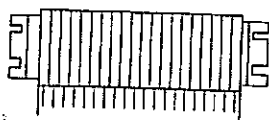


◎誤ったペーパーの使い方

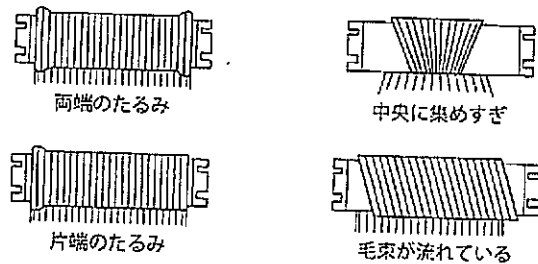


ロッドを巻きこむときは、均一なウエーブを求めるために、最初から最後まで一定のテンションで巻く。

◎正しい巻き方

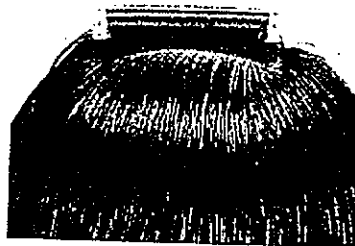


◎悪い例

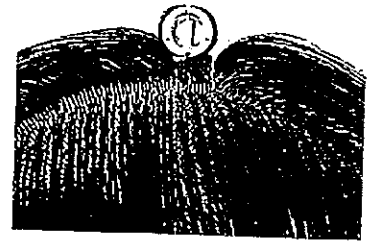


① 輪ゴムのかけ方

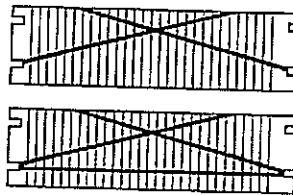
使用するロッドの長さによって、輪ゴムの大きさを使い分ける。
輪ゴムは根元に負担がかからないようにとめる。



輪ゴムとロッド、スライス線、頭皮がそれぞれ並行になるように気を付ける。

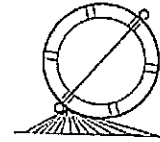


巻きおさまりを横から見たところ。輪ゴムが根元を押さえこんで「く」の字になっていないか気を付ける。

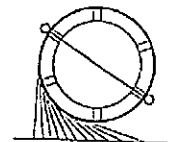


直径が大きく力の弱い輪ゴムの場合は、クロスしてかけるが、その場合はテンションを一定にするよう十分注意する。

② 悪い例



根元に輪ゴムがくいこんでいる



ステムがたるんでいる

- 薬剤がほかに移動しないように、コーミングには十分注意する
- 作業効率を考えて、パーマネントウェーブのかかりにくい部分から巻き始める
- 毛髪が乾燥しないようにする
- ワインディングタイムは早く。25分以内が目安
- むらがかりにならないようにする

③ 1 剤塗布

ワインディングが終了したら、1 剤を塗布する。

この1 剤によって最終的にはパーマネントウェーブがかかるので、必要かつ十分な量を塗布する。

頭皮や顔面に流れる、目や耳に入る、ネープにたまるなどしないよう、細心の注意を心がける。



① 剤塗布の時間的流れ

- 1 ワインディング終了後、フェイスラインに保護用クリームを塗る
- 2 軽くウォータースプレーを行い、毛髪全体を均一なウェットの状態にする
- 3 パーマネントウェーブのかかりにくい部分から塗布する(下から上へ)
- 4 アプリケーターを使い、ロッド1本1本に丁寧に塗布する
- 5 ターバンをして薬剤が流れないようにする

1 剤塗布直後、キャップをかぶせる前に、1 剤が平均かつ十分に、毛先まで塗布されているかを確認する。

塗布した状態で毛髪の膨潤軟化を見極め、放置タイムをあらかじめ予測する。

② 放置タイム

キャップをかぶせて放置する。時間は製品によって多少前後するが、10分前後が目安である。しかし髪質によっても異なり、かかりやすい髪質で5分、かかりにくい髪質で15分という場合がある。オーバータイムに注意する。



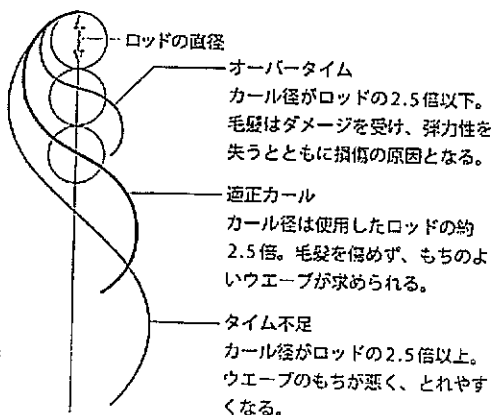
③ テストカール

1 剤がどの程度毛髪に作用しているかを調べるのが、テストカールの目的である。希望どおりのウェーブが出ているかどうか、ロッドを数本外してチェックする。

テストカールの場所は以下のとおりである。

- 使用したロッドの太めと細め、あるいはその中間部分
- 早めに巻いたところと後から巻いたところ
- かかりにくそうだった部分とかかりやすそうだった部分

④ テストカールで見るウェーブの状態



判断が困難な場合は、ネープ最下部の細めのロッドで判断する。

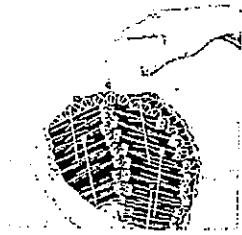
ウェーブの大小はロッドの太さによって決まる。放置タイムの長短でウェーブの強弱を加減することは避ける。

5 パーマネントウェーブ技術

④ 中間リンス

中間リンスは、役割を終えた1剤をぬるま湯で完全に洗い流すことで、2剤のはたらきを効果的にする。また、毛髪に残っている余分な成分が除去され、毛髪のダメージを軽減する。

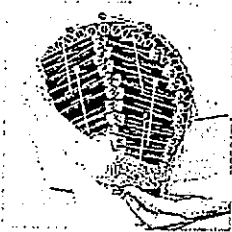
中間リンスを終えたら、タオルをロッドに押し付けるようにして、毛髪に残る水分をできるだけ取り除く。これを行わないと、ロッドに巻かれた毛髪は水を含んだスポンジ状であり、2剤が毛先まで浸透することができない。スポンジや海綿を用いる場合もある。



⑤ 2剤塗布

1剤と2剤のはたらきが終了して初めて、ウェーブが出る。したがって1剤同様大切な施術である。

2剤の処理が不十分だと、ウェーブのもちが悪かったり毛髪が傷みやすくなるため、1剤と同様1本1本、丁寧に塗布する。



⑥ 臭素酸ナトリウムの2剤の場合

一般的に10～15分放置し、2～3回に分けて塗布する。

処理時間や塗布量が十分でない場合は、完全酸化が行われず、毛髪損傷の原因になる。

⑦ 過酸化水素水の2剤の場合

過酸化水素水の2剤は、臭素酸塩の2剤と比べて酸化速度が早く、短時間で作用する。そのため毛先まで十分にとどく塗布量が必要である。また長時間放置すると、毛髪の脱色や損傷の原因となるため注意が必要である。

⑧ ロッドアウト

2剤の放置タイム終了後、ロッドを外す。

薬剤と反応した毛髪は、大変デリケートになっており、ウェーブの定着も不完全である。そのためロッドアウトの際は強く引っ張ったり、もつれさせないように静かに順序よく外すことが大切である。



⑨ リンス

① プレーンリンス

ぬるま湯で洗い流すだけの作業だが、簡単に済ませると2剤が毛

髪に残り、仕上がり後の毛髪がごわついたり、不快臭や変色などといった損傷の原因になる。

すすぎにくいネーブや耳の後ろなどに注意する。

⑥アフターリンス

パーマネントウェーブの施術は手術と同様と思ってもよい。1剤で切断された結合を、2剤の縫合手術で再結合するという、毛髪にとっては大手術を受けたことになる。

頭皮もパーマ剤が付いて膨潤軟化しているため、毛髪のタイプに応じた酸性リンス剤、トリートメント剤で整える。

アフターリンスの目的

・施術中に脱脂した油分をヘアトリートメントで補う

・アルカリ性になっている毛髪を酸性リンスでもとの状態にし、健康な毛髪に戻す

・アルカリ分を中和し、膨潤した毛髪を収れんさせる

⑦ウエーブチェック

全体のかかり具合をチェックする。

お客さまには施術後の手入れや、家庭での効果的な手入れ方法などをアドバイスする。

結果については、今後の技術に役立てるとともにカルテに記入し、次回の参考にする。

⑧スタイリング

できるだけウエーブを生かしたスタイリングを考えるようにする。必要に応じてスタイルに合ったチェックカットを行い、デザインにあったスタイリング剤を使う。



表紙表丁 上田宏志〔ゼブラ〕
表紙裏面 AKIRA

美容技術理論 1

平成23年5月24日発行

社団法人
日本理容美容教育センター
〒151-8505 東京都渋谷区代々木3丁目46番18号

